

第 12 章

ライオンズクラブ国際財団 (LCIF)

300 W. 22nd Street
Oak Brook, IL 60523-8842 USA
電話: 1-630-468-6901 Fax: 1-630-571-5735
lcif@lionsclubs.org
www.lcif.org

LCIF の使命

不可欠な人道主義的奉仕を行いながら地域社会及び国際社会のために尽くす全世界のライオンズクラブの取り組みを支援する。

概要

LCIF は、困っている人々に奉仕をするライオンズを助けるライオンズであり、ライオンズクラブ国際協会の公式慈善機関である。LCIF を通じてライオンズは、痛みや苦悩を和らげ、世界中の人々に癒しと希望をもたらしている。LCIF はライオンズの会員及びライオンズ以外の人々からドネーションを受け付け、世界中の地域社会における不可欠な人道的ニーズを満たすための援助交付金として資金をライオンズ地区に提供する。

LCIF はライオンズのために具体的に何をするのか。

- LCIF は、世界的な人道的問題に効果的に対処できるよう、ライオンズクラブ国際協会を助ける。
- LCIF は、災害や天災が起こった際、ライオンズが他の人を助けるのを可能にする。
- LCIF は、地区やクラブが独自で行うには大きすぎる事業に資金を提供する。
- LCIF は、ライオンズの地元ニーズに応え、地域社会に奉仕する交付金プログラムを考案する。
- LCIF は、資金の有効活用とプログラムの拡大のため、パートナー団体と協力する。

LCIF と提携することにより、地区は不可欠な人道主義的事業を手がける。これら事業は、河川盲目症予防や高齢者支援から、学校建設や世界各地の天災被災者救援などに及ぶ。

LCIF は非常に効率性の高い財団である。LCIF にはクラブからの会費収入は一切ない。LCIF に寄せられる資金の殆どはライオンズからのものである。寄付される資金は全額、それを元手に有効活用される。LCIF 交付金に合わせて同額が、大抵地元で調達される。このほかにライオンズ以外の協力者からの資金も活用されることから、LCIF へのすべての寄付がより大きな成果をもたらすことになる。

LCIF の運営

LCIF は、ライオンズクラブ国際理事会メンバー並びに国際会長に任命された二人のメンバーで構成される LCIF 理事会によって運営される。前国際会長が理事長を務める。LCIF 理事会の中

から選ばれた 12 人のメンバーで LCIF 執行委員会が編成される。LCIF 理事会は年に 3 回会議を開き、援助交付金申請を検討すると共に、他の業務も果たす。同会議は、ライオンズクラブ国際協会理事会々議の直前に開かれる。

この他、LCIF 執行委員会の管理下で、LCIF とそのプログラムの開発、監督、推進を手助けする委員会が設置されている。その委員会とは以下のようなものである。

LCIF ステアリング委員会は、開発／コミュニケーションとプログラムの二つの分野、ならびに LCIF 理事会から要請があればその他の分野について、LCIF 理事会に対する提言を行う。委員会は、各会則地域の代表者 1 人ずつ、会員数上位 2 カ国の代表者 1 人ずつ、会員平均ドネーション額上位 2 カ国の代表者 1 人ずつ、及び一般の会員 2 人で構成される。ステアリング委員会は、複合地区及び地区の LCIF コーディネーターから成るボランティアのコーディネーター体制を統率する。

財務委員会は、LCIF の予算と投資を監督するとともに、LCIF の健全性が保たれ将来のための資金が充分確保されるよう、すべての財務を点検する。

視力ファースト委員会及びライオンズクエスト・プログラム諮問委員会は、それぞれプログラムの開発と調整を監督し、米国内及び世界で普及促進に努めると同時に、変化し続けるニーズに対応できるよう継続的にプログラムを改善・推進するため設置されている。各委員会はライオンズのリーダーとその分野の専門家で構成されており、LCIF 理事会の最終検討に先立って事業案の検討と交付金支給についての提案を行う。

LCIF コーディネーター

LCIF 複合地区コーディネーターおよび地区コーディネーターは、ライオンズクラブ国際財団の大使としての役割を務める。LCIF 複合地区および地区コーディネーターは実証済みの優れた指導力、そして LCIF の博愛主義および人道奉仕の理念に対する献身の深さからこの役職に選ばれる。コーディネーターは全員、十分な研修を経て、LCIF のサポートを受けながら活動する。

複合地区コーディネーターは、LCIF ステアリング委員会メンバーが、適切であれば地域の指導者（国際理事、元国際会長、元国際理事など）と協議の上、推薦する。複合地区コーディネーターは国際会長と LCIF 理事長の両者によって任命されなければならない。推薦過程においては、複合地区、地区、クラブのレベルにおける指導者としてのこれまでの経験が勘案される。

複合地区コーディネーターの重要な責任には以下がある。

- 複合地区内の LCIF 地区コーディネーターのチームリーダーとなる
- LCIF の使命と実績、またライオンズクラブ国際協会における LCIF の重要性についてライオンズの理解を深める
- 複合地区内での LCIF の資金調達にかかわるあらゆる側面で支援を行う

LCIF 地区コーディネーターは、LCIF 複合地区コーディネーターが、地区ガバナー・チームと協議の上、推薦する。任期は 3 年（地域によって異なる場合がある）である。地区コーディネーター

一の任命は、LCIF理事長が行う。地区コーディネーターの活動は、財団の強化と、世界中のライオンズによる人道的奉仕の促進に向け努力することである。LCIF地区コーディネーターは、LCIFのボランティアコーディネーターとして以下の重要な責任を担う。

- 地区内の LCIF 開発戦略実施を監督する
- LCIF の使命と実績、またライオンズクラブ国際協会における LCIF の重要性についてライオンズの理解を深める
- 地区における資金獲得活動のあらゆる側面を通じて LCIF を支援するよう奨励する

この役職を担うライオンは、LCIFへの明確な関心に加え、地区、及びクラブレベルでリーダー職を務めた経験を持ち合わせていなければならない。LCIF地区コーディネーターはLCIF複合地区コーディネーターに直属するが、地区ガバナーをはじめとする現地の地区指導者と緊密に協力し合うことが奨励される。本役職は2008年に設置されたものであり、新たなLCIF開発戦略が実行に移されるにつれ、LCIF地区コーディネーターの責任も変化及び（又は）拡大することが予想される。

LCIF における地区ガバナーの役割

LCIF は、全ライオンにとっての誇りと人道的活動の源である。地区ガバナーは、LCIF 地区コーディネーター及び LCIF 複合地区コーディネーターとともに以下を行うことによって、LCIF の世界規模の人道奉仕を支えるべきである。

1. LCIF のゴールと実績を広報する。
2. キャビネット会議で、地区の LCIF 寄付に関する定期的な進捗報告を LCIF 地区コーディネーターに発表してもらう。
3. MJF 寄付と献金会員寄付をはじめとする、LCIF へのドネーションを奨励する。
4. クラブに、年に 1 度 LCIF 例会を開くよう奨励する。例えば、地区 LCIF コーディネーターによるプレゼンテーションを予定するなど。
5. 交付金プログラムの内容と申請のための基準を理解する。
6. LCIF の広報資料や他のツールを活用する。

LCIF のプログラム/実績/主な取り組み

1968 年の設立以来、LCIF は世界中の人々の暮らしを向上させるために 9 億 7 百万ドル以上を交付した。LCIF は、ライオンズが目が見えない人々に視力を与え、自然災害の被災者を救援し、障害者、青少年、老人を援助することを可能にしてきた。

LCIF は国際連合及び世界保健機関との関係を築き、世界的に認められる人道主義的機関へと進化した。

最新の実績については、LCIF ウェブサイト (www.lcif.org) で見るができる。

視力ファースト

本プログラムの使命は、失明の主因と闘い視力障害者にリハビリサービスを提供するための包括的眼科医療システムを構築することである。プログラムでは、眼科医療サービスの提供、人材研修、インフラの開発、そしてリハビリと教育の提供などを、こうしたサービスの不足するコミュニティで行うための、質の高い持続可能な事業を支援する。

視力ファーストの実績は、実に目覚ましいものである。1990年の発足以来、視力ファーストは以下のような成果をあげている。

- 102カ国において総額3億1,790万ドルにのぼる1,207件の視力ファースト交付金を支給
- 白内障手術によって810万人の視力を回復
- 2億7,100万人の河川失明症を治療
- 「Sight for Kids（子どもの視力を守ろう）」というジョンソン・エンド・ジョンソンとの共同取り組みを通じて、2,000万人の子ども達の眼疾患検査を実施
- 何億という人々のための眼科医療サービスを向上
- 何百という眼科病院、診療所、病棟を建設・拡充
- 何千という眼科専門家や村落の医療関係者を研修指導

視力ファーストの主な取り組み

すべての人に視力を：現在視力ファーストは、1990年の発足当初には目立たなかったか治療できなかった視力を脅かす新たな脅威への対応に大々的に力を注いでいる。今日、世界中のライオンズが、小児期の失明、糖尿病性網膜症、低視力、屈折異常など、視力を脅かす新たな問題に重点的に取り組む事業や視力障害者が教育やリハビリテーションを受けられるようにする事業への支援を要請することができる。

小児期の失明：LCIFは世界保健機関（WHO）と提携し、五つの大陸にライオンズ小児眼科センター及び研修プログラムを設け、これまでに何百万という子どもたちを助けている。

河川盲目症：視力ファーストはアフリカ及びラテン・アメリカにおいて何百万件という河川盲目症治療を支援している。ラテン・アメリカでは、今後10年以内にはこの病気を撲滅できるものとみられている。

トラコーマ：LCIFは医薬品、手術、清浄水、医療員訓練、保健教育を提供する事業を通して、予防可能な失明の世界的主因であるトラコーマと闘っている。今日までに、視力ファーストは何千件もの睫毛乱生症手術と、1億件のジスロマックス®投与を可能としている。

視力ファースト中国行動計画：視力ファースト中国行動計画（SFCA）は、中国での眼科医療のニーズを受け、1999年に正式に開始した。最初の2段階を通じてSFCAは、500万件以上の白内障手術の提供と眼科医療設備の強化を実現した。第3段階では、トラコーマ撲滅、低視力事業、そして包括的な眼科医療システムの構築を主眼とした取り組みを行っている。中国政府とライオンズはWHOと協力し、2017年までに失明に至るトラコーマを根絶するための包括的な長期計画を打ち出している。

ライオンズクエスト

ライオンズクエストは、5～19歳までの子どもたちを対象に、学校を基盤としてライフスキルを教えるプログラムである。これは、アメリカの教育制度では幼稚園から高校3年生まで、その他の国では大学に入る前までの初等中等教育を網羅する。青少年の健全な育成のために、ライオンズは1984年にクエスト・インターナショナルと協力関係を結んだ。プログラムの活用範囲を広げ、本プログラム実施において地元の学校や地域社会と協力するライオンズにさらなる支援を提供し、認知度を高めるため、LCIFは2002年にライオンズクエストを取得した。今日までに約1,300万人の青少年がライオンズクエストの授業を受けた。このプログラムは、政府機関及び教育関係団体からも高く評価されている。ライオンズクエストはこれまでに約90カ国で実施されており、プログラムの教材は37カ国語に翻訳されている。

ライオンズクエストのプログラムは、米国教育省発令の効果的予防プログラムに関する10のガイドラインすべてに準拠しているほか、世界中の多くの国が掲げる基準にも沿っている。過去20年間にわたり、プログラム開発者、学校区、大学、および独立調査会社がプログラムの評価を実施してきた。その結果、学力テストでの成績の向上、薬物乱用と暴力に関する知識、態度、および信条の変化、しつけや校則に反する問題発生率の低下、学校中退のリスク低下、アルコール類やタバコその他の薬物の使用の減少などが指摘された。

ライオンズクエストには、年齢層別に三つのプログラムがある。

1. **成長期への対応 (Lions Quest Skills for Growing)** : 5～9歳までを対象とした児童用カリキュラム。幼い生徒に、良い決断をすることと、自尊心を維持することを教える。
2. **思春期への対応 (Lions Quest Skills for Adolescence)** : 10～14歳を対象とした中学校用カリキュラム。前向きな社会的態度、他者への敬意、責任感を育てると同時に、青少年を健全な選択と薬物や暴力のないライフスタイルへ導く強力な非行防止ツールとしても効果を発揮する。
3. **飛躍への対応 (Lions Quest Skills for Action)** : 15～19歳を対象とした高校用カリキュラム。個人的・社会的・思考的スキルの向上と、サービスマーケティング（地域奉仕を通しての体験学習活動）を組み合わせることにより、自信を養い、学校とのつながりを維持させ、現実的な問題に取り組むと同時に、「21世紀の労働スキル」を学ぶことができるよう青少年を助ける。

教材の改訂

ライオンズクエストは、プログラムを今日の青少年により即したものにするため、すべての教材を改訂・刷新している。これには、最新のインタラクティブな授業用システムでも使える、投影可能な教材の作成なども含まれる。改訂の初期段階は英語版において行われ、2015年の初めに完了予定である。完了したら、LCIFが世界中の実施国と協力して各国語版の改訂に当たり、このための交付金も利用できるようにする。

次期地区ガバナーは、以下の段階を踏むことにより、年度中地域でライオンズクエストを実施することができる。

1. LCIFに連絡する

- a. LCIFライオンズクエスト課では、ライオンズが同プログラムについて知り、地区やクラブがライオンズクエストを地域の学校に導入する準備ができるよう、数多くの資料を用意している。
 - b. ライオンズクエスト実施国の多くでは、プログラムを管理する財団、事務局、常任委員会などが設けられている。こうした国では、ライオンズはこれらの組織に連絡をするとよい。LCIFはそれを仲介することができる。
 - c. 詳しくは、ライオンズクエストのウェブサイト (www.lions-quest.org、英語) を参照するか、info@lions-quest.org にEメールで問い合わせる。
2. 地域の学校に働きかける
 - a. 学校を対象とするライオンズクエストの説明会を開く
 - b. 保護者グループに働きかける
 - c. ライオンズクエストをテーマとしたクラブ例会に教師や関係者を招く
 3. 支援者を特定する
 - a. 学校組織とつながりを持っている会員や、教育制度などについて詳しい会員が地区内にいないか調べてみる
 - b. 持続可能な運営委員会を設け、有能な会員をライオンズクエスト委員長として任命する
 4. ライオンズクエストを実施する
 - a. 教師をライオンズクエスト講師として認定する教師研修ワークショップの計画を立てる
 - b. 教師用の教材と生徒および保護者のための補助資料を入手する
 5. 学校と教師に継続的な支援を提供する

LCIFでは、クラブや地区、複合地区がライオンズクエストを世界に広げるためのテクニックをいくつか特定している。

- **ネットワークづくりが不可欠**：ライオンズクエストの成功事例を見ると、小さいスケールで始まり、時間をかけて成長したものが多い。こうした事例では、主要な意思決定者がライオンズクエストについて数年にわたり知っており、最初の糸口となったのが**ライオンズ**である。地区ガバナーは、ライオンズクエストが最も成功しそうな場所を一番よく知っているはずである。自分の都道府県や地域で、ライオンズが校長、または運営責任者や教育的指導者を務める学校はないか？地区内で、自治体との接点を持つ人物は誰か？ライオンズクエストを拡大させるためには、教育における指導者とのネットワークを強化する必要がある、その手助けをできるのが地区ガバナーである。
- **ライオンズクエストを、学習指導要領を満たす手段として紹介する**：学校がライオンズクエストを受け入れない理由として最も多いのが、州や国の定める必須教科が多すぎるからというものである。多くの学校や学区がライオンズとの提携を希望するのは、われわれがそうした要件を満たすことができるからである。LCIFでは、要領の中の特定の要素を見つけ出し、それをライオンズクエストの単元やレッスンと結びつけるための互換ガイドを作成する手助けをすることができる。地区ガバナーはこれを利用して、地区内でのライオンズクエストの普及促進に当たることができる。
- **地区全体を通して拡大する**：拡大するのは困難を極めることもある。しかし、素晴らしい数字と結果を出すためのこの上ないチャンスともなりうる。ライオンズクエストでは、ほとんどのライオンズ事業がそうであるように、成功が成功を生む。ライオンズが他の

地区と協力することでライオンズを拡大していくことができるのと同様、一つの学区で強力なライオンズクエスト・プログラムを構築すれば、その近隣の学区での拡大を計画する助けとなる。LCIFは、最高責任者から個々の教員まで、学校組織の誰とでもプログラムについて話し合い、その学校のニーズに最適なスケールで実施する所存である。しかし、プログラムを向上し、強力な実施校を得るための最良の方法は、ライオンズのネットワークを使って上層部との良い関係を築くことであり、それは地区ガバナーから始まるのである。

LCIF のその他の取り組み

ワンショット、ワンライフ（1回の予防接種が救うひとつの命）： ライオンズはしかイニシアチブ

はしかは、予防が簡単で安価であるにもかかわらず、毎年何十万という子どもたちの命を依然として奪い続けている。ワン・ショット、ワン・ライフ（1回の予防接種が救うひとつの命）を通じて、ライオンズはシンプルなはしか・風疹ワクチンへのアクセスを確保し、世界中の子どもたちの命を救っている。

2010年以來、LCIFとライオンズは、はしか・風疹イニシアチブ（M&RI）、GAVIワクチンアライアンス（「ワクチンと予防接種のための世界同盟」より改称）、そしてビル&メリンダ・ゲイツ財団などの世界的な予防接種関連の筆頭組織と協力をしてきた。その例としては、1) 優先国における予防接種を支援する援助資金の拠出、2) 地域や国のレベルでの啓蒙活動への関与、3) 予防接種キャンペーンを支援するための社会的マーケティングへの直接関与などがある。今後数年間にわたり、ライオンズは以上の3分野において引き続き協力を行う。

2013年6月には、GAVIマッチングファンドに2017年までに総額US\$3,000万を寄付することをLCIF理事会が承認。この資金に対してGAVIマッチングファンド（その資金供給元は英国国際開発省とビル&メリンダ・ゲイツ財団）から同額のマッチング資金が提供される。ライオンズがはしか・風疹イニシアチブの活動を支援するためにこれまでに行ってきた献金を合わせれば、GAVIマッチングファンドは、協会創立100周年とLCIF創立50周年を記念してはしか撲滅のためにUS\$8,000万余りを拠出することを可能にし得る。この資金獲得活動は、百周年記念の主要プログラムの一つとなった。

2014～2015年度、LCIF開発コーディネーターは、地区ガバナー・チームと協力して各地域におけるワン・ショット、ワン・ライフ資金獲得目標を掲げるよう求められた。地区ガバナーは、年度を通じてこの目標の達成に向けた取り組みを支援するよう求められる。また、最新ニュースや、この重要な取り組みを地区のライオンズが支援するための詳細は、www.lcif.org/blogから確認できる。

ライオンズ低価格補聴器事業（AHAP）

ライオンズ低価格補聴器事業（AHAP）は、低所得者や恵まれない人々のために安価でしかも高品質の補聴器を提供することを目的とした、現在米国においてのみ行われている試験的プログラムである。補聴器の値段は各US\$200である。LCIFでは3種類の耳かけ型のレクストン補

聴器を提供している。既存のライオンズ聴力プログラム、財団、及びクラブは、LCIFを通してこれらの補聴器を手に入れることができる。補聴器を必要とする個人は、地域のライオンズクラブを通じて、補聴器の経費全額または一部を援助してもらうことができる。地域で補聴器の提供に興味のあるライオンズクラブまたは地区は、LCIFに連絡してプログラムの開始方法を問い合わせる。

LCIF の各種援助交付金プログラム

LCIF は 1968 年の創立以来これまでに 12,137 件の交付案件を通じ、9 億 7 百万ドルを超える援助金を交付している。

援助金には様々な種類がある。

視力ファースト援助交付金は、失明の主原因と戦い、視覚障害者に治療を提供するため、包括的な眼科医療体制を構築するものであり、眼科医療提供、人員養成、インフラ整備、医療の行き届いていない地域社会でのリハビリテーションや教育の実施といったことに取り組む質の高い持続可能な事業を支援する。地区及び複合地区は、自分たちの地域を担当する視力ファースト技術顧問と協力して交付金を申請する。

一般援助交付金は、LCIF でも最も人気があり、支援範囲の広い援助金カテゴリーである。このプログラムは、設備や建築作業などを必要とする状況で、重要な人道的ニーズと取り組む大規模な事業が行われる場合、地元で調達される資金額に合わせて US\$10,000 から US\$100,000 までの資金を提供するものである。

国際援助交付金 (IAG) は、少なくとも二つの国のライオンズクラブが協力関係を結んで行う共同事業のために提供される。医療派遣団、基本的な医療サービス、食糧の自給自足、障害者組織への援助、清水事業など、主に貧しい国における小規模の事業を助けるために、ライオンズが地元で集めた資金に合わせて、US\$5,000 から US\$30,000 の範囲で援助金が交付される。建設事業は交付の対象とはならない。

四大交付金は、ライオンズが特に力を入れている奉仕の分野である視力保護、障害者援助、保健促進、青少年奉仕において、切迫したニーズに対処する斬新的な事業を援助するためのものである。3 対 1 の資金分担の割合で、最高 US\$200,000 が交付される。ライオンズクエスト事業に対しては US\$100,000 を上限に資金が交付される。

緊急援助交付金は、天災発生直後に救援物資を配給するために提供される。最高交付額は US\$10,000 である。

大災害援助交付金 (MCAT) は、大規模な災難が起こった後、長期的な再建事業の資金援助をするために、US\$50,000～US\$250,000 の範囲で提供される。この交付金は、国際会長と LCIF 理事長の判断によって交付されるものであり、ライオンズが申請することはできない。

用途指定援助金は、特定の事業や活動に用途を指定して LCIF に寄せられた資金である。

交付金についてよくある質問

1. 地区や複合地区はどのようにして交付金を申請するか

LCIF に電話 (630-468-6901) 又は E メール (lcif@lionsclubs.org) で連絡する。また、申請用紙や補足情報は、LCIF のウェブサイト (www.lcif.org) に掲載されている。

2. 交付金申請書はいつ提出すべきか

ほとんどの交付金申請書は、LCIF 理事会会議が開催される少なくとも 60 日前までに、必要な情報がすべて揃った状態で提出されなければならない。視力ファースト援助交付金を申請する際は、視力ファースト諮問委員会 (SAC) 会議開催の 90 日前までに申請書を提出しなければならない。同様に、ライオンズクエストに関する交付金の申請書は、ライオンズクエスト諮問委員会 (LAC) 会議開催の 60 日前までに提出しなければならない。これらの会議の正確な開催日については、LCIF に問い合わせるか、ウェブサイトで確認する。LCIF 理事会会議は一年に 3 回、SAC および LAC は一年に 2 回開かれる。

3. 交付金申請書を承認するにあたって、LCIF は何を重要視するか

事業は重要な人道的ニーズを取り扱う、相対的に多数の人々を奉仕の対象とした事業で、かつ費用効率が高く、地元で集められる資金だけでは力が及ばないものでなければならない。また事業予算案は、地元のライオンズ組織から十分な資金が出ていることが示されており、ライオンズが主体となったライオンズ事業であることが明確に識別できると共に、地区キャビネットおよび/または複合地区協議会の承認を受けている必要がある。

4. 個々のクラブが利用できる交付金があるか

殆どどの交付金も、地区または複合地区が関係する必要がある。しかし国際援助交付金は、事業をスポンサーするライオンズクラブまたは地区が、事業が実施される国のホスト・クラブ又は地区とパートナーになることを認める。個々のクラブへの交付金は限られている一方、クラブは奉仕事業に幾つでも参加することができる。

5. LCIF は援助金を個人に直接交付するか

しない。個人に交付される援助交付金プログラムはない。LCIF の各種交付金はライオンズの地区、複合地区、クラブに交付される。

6. 四大交付金と一般援助交付金の違いは何か

一般援助交付金は、ライオンズによって行われる幅広い種類の大規模な人道的取り組みを対象とし、主に設備や基本的な建設作業のために資金を必要とする事業を援助するものである。一般援助交付金はマッチング制であり、最高 US\$100,000 まで交付される。四大交付金は、視力保護、障害者援助、健康促進、青少年奉仕の四つの奉仕分野という非常に具体的な優先項目に交付が限られている。四大交付金の優先事業はあらかじめ決められており、四大交付金の要請は優先項目に関連した事業の資金援助をするものでなければならない。

現在の四大交付金優先事業の一覧は、LCIF のウェブサイト (www.lcif.org) を参照する。さらに、ほとんどの四大交付金はライオンズの寄付に対し 3:1 の割合で支給される。大部分の四大交付金事業に対する最大交付額は US\$200,000 である。

7. 視力ファースト事業とその他の視力関連事業の違いは何か

視力ファースト事業は、予防または治療可能な失明の主因に焦点を当て、包括的に取り組むものでなくてはならない。また、事業は持続可能であり、十分な医療を受けていない人々や、眼科医療へのアクセスが限られているか全くない人々を対象に行われるものである。こうした性質は持たないが、例えば医療奉仕使節団の派遣や現地の眼科医療施設が必要とする備品の提供等に的を絞った視力関連事業は、国際援助交付金または一般援助交付金を受ける対象となり得る。

8. LCIF 交付金プログラムの資金はどこから出るか

ほとんどの援助金交付は、世界中のライオンズクラブ及び会員からのドネーションのお陰で可能となっている。LCIF はライオンズ会費からの資金を一切受け取らない。財団組織、企業、政府、ライオンズ以外の一般人からの寄付や、投資収益も資金源である。

LCIF コミュニケーション

LCIF には、地区ガバナー及び他のライオンズが財団について理解を深め、推進するのに役立つ数多くの優れた情報資源がある。

- LCIF ウェブサイト (www.lcif.org) には、パワーポイントによるプレゼンテーション、ダウンロード可能なパンフレットなどの情報資料、援助交付金、メルビン・ジョーンズ・フェロー申請書、献金会員、その他に関する情報が掲載されている。LCIF に連絡すれば、印刷された資料を取り寄せることもできる。また、ウェブサイトには最近承認された交付金に関する最新情報やニュースも掲載されている。
- 地区ガバナーは、LCIF あるいは LCIF 地区コーディネーターに連絡して、**地区のドネーションに関する記録及びこれまでの交付金に関する情報**を取り寄せることができる。LCIF ウェブサイトには、いろいろな種類の**交付金及び申請する際のガイドライン**の説明が載っている。
- LCIF 理事長のメッセージが掲載された LCIF ニュースレターを受信する。最新のニュースやプログラムに関する情報が全公式言語で毎月 E メールで発信される。Eメールの配信登録または詳細については、LCIF (lcif@lionsclubs.org) に問い合わせる。

LCIF 出版物

下記の出版物がすべての公式言語（注釈がついている場合を除く）で、LCIF から郵送で取り寄せられる。LCIF ウェブサイト「ライオンズ・センター」の LCIF 情報資源のページからダウンロードすることもできる。

一般出版物

LCIF 概観 (LCIF-600)

数字でみる (LCIF-106)

LCIF プログラム (LCIF-603)

LCIF 援助交付金 (LCIF-604)

LCIF 広報活動 (LCIF-605)

ナンバーワン・パートナーNGO (LCIF-609)

災害援助の提供 (LCIF-104)

LCIF 献金会員寄付用紙 (LCIF-120)

メルビン・ジョーンズ・フェロー申請書 (LCIF-42M)

MJF 申請方法の説明および申請書。

寄付の方法および表彰の種類 (LCIF-42R)

年次報告 (LCIF-30)

ForSight (視力ファースト情報誌) (SF-206)

SightFirst:Lions' Vision for All - 概要パンフレット (SF-207)

交付金に関する出版物

一般援助交付金申請書 (LCIF-27)

どのようにして LCIF 一般援助交付金を申請できるか (LCIF-109)

LCIF 国際援助交付金申請用紙 (IAG-1)

国際援助交付金を申請するには (LCIF-110)

視力ファースト援助交付金申請書 (LCIF-40)

緊急援助交付金申請書 (LCIF-47)

緊急援助交付金最終報告用紙 (LCIF-25A)

ライオンズクエスト

ライオンズクエストの概要 - 米国向け (LQ 6)

ライオンズクエストの概要 - 米国外向け (LQ 12)

ライオンズクエストに関する説明書

LCIF のビデオ

LCIF のビデオは、LCIF の意義を伝える上で説得力のある方法である。DVD をクラブ例会や地区大会でライオンズに観せるだけでなく、地元のテレビ局に提供したり、ライオンズ以外の人々と共有することにより LCIF がもたらしめているインパクトについて知ってもらうことができる。公式言語に翻訳されているビデオも多数ある。以下の DVD およびビデオが用意されている。

LCIF はあなたの財団

ライオンズは…LCIF

LCIF を通じた被災地支援

LCIF 寄付者表彰プログラム

視力ファースト II : 未来を見つめて

ライオンズクエスト : スキル・フォー・ライフ (オンライン配信のみ)

ライオンズクエスト : 世界各地のサクセスストーリー (ライオンズクエスト・ハウツー・キットの一部)

ライオンズはしかイニシアチブ : 初年度の成果を祝う (オンライン配信のみ)

活動を拡大しよう : ライオンズクエスト (オンライン配信のみ)

オープニングアイズが人生を変える (オンライン配信のみ)

小児白内障イニシアチブ : 共同プログラム (オンライン配信のみ)

米ミズーリ州ジョプリンでの災害援助 (オンライン配信のみ)

財団を育てる (オンライン配信のみ)

巨大暴風雨「サンディ」被災者援助 (オンライン配信のみ)

LCIF の愛の奉仕活動 (オンライン配信のみ)

LCIF を支援します (オンライン配信のみ)

オクラホマ州ムーアでの被災者援助 (オンライン配信のみ)

サイト・フォー・キッズ (子どもの視力保護プログラム) をたたえて (オンライン配信のみ)

注文は、LCIF に E メール (lcif@lionsclubs.org) で行う。オンライン (www.lcif.org) での視聴も可能である。

LCIF のパートナー

企業、NGO、政府関係パートナー

LCIF は、企業、NGO、政府等のパートナーの惜しめない協力に感謝する。これらのパートナーは資金だけでなく、人道主義の精神と恵まれない人々の生活改善への貢献を共有している。また、多くがその専門知識を提供し、先頭に立って事業の技術的な部分の実施に当たっている。こうしたパートナーのおかげで、LCIF とライオンズは、プログラムを拡張し、新しいイニシアチブを確立し、奉仕を拡大することにより、数多くの地域への奉仕が可能となっている。LCIF の主要なパートナーは以下の通りである。

エシロール・インターナショナル : ライオンズと共同で、失明予防の必要性が大きく、未矯正の屈折異常 (URE) への対策が行われていない地域の病院の特定を実施。エシロールは、レンズおよび光学ラボ備品の原価提供に対する要請を検討し、特に選ばれた試験実施国における恵

まれな人々のための新しい眼鏡の作り方についてライオンズ眼科センターおよびボランティアへの指導を行う。

ジョンソン・エンド・ジョンソン社ビジョンケア(JJVC) (アジア太平洋) : 2002年以來 US\$240万の寄付を提供することにより、学校を拠点とした LCIF および JJVC サイト・フォー・キッズ・プログラム視力検査を実施するための資金援助を行っており、医療が十分行き届かないアジア諸国において 2,000 万人の子どもたちが検査を受けた。このプログラムは最近ケニヤとトルコにも拡張された。サイト・フォー・キッズ・プログラムは、教員や現地ライオンズの研修を行い、地域の学校と協力して目の健康に関する意識高揚、教育、児童視力検査に取り組み、眼鏡を含め、更なる検査等を要する子どもたちの専門家による治療を提供するものである。検査は、現地のライオンズ会員、学校関係指導者、現地医療関係者、ジョンソン・エンド・ジョンソン・ビジョンケアのスタッフによって手配される。

メルク社 : ラテン・アメリカとアフリカの河川盲目症予防のため、1億 5,900 万人分の医薬品メクチザン®を LCIF 及びライオンズに寄付。

協力パートナー

非営利団体との協力関係を通じ、LCIF はそのリソースを活用し、独力では到達不可能な業績を達成している。以下は、LCIF の主要な協力パートナーには以下がある。

カーター・センター: LCIF は、ラテン・アメリカとアフリカの河川盲目症 (オンコセルカ症) 予防のため、LCIF 視力ファースト交付金 US\$ 4,210 万をカーター・センターに供与してきた。メルク社も、こうした河川盲目症予防プログラムに対し医薬品を提供している。LCIF はまた、カーター・センターと協力して、エチオピア、マリ、ニジェールでトラコーマ撲滅活動も行っており、この取り組みのため US\$1,400 万を交付した。ファイザー製薬も、トラコーマ対策プログラムのために医薬品の寄付を行っている。

スペシャルオリンピックス・インターナショナル : 2013 年 7 月、LCIF は US\$780 万の資金提供と、保健サービスや青少年及びその家族の支援などの新たな分野のプログラム開発を含む、複数年にわたるパートナーシップの拡大を発表した。2001 年以來、プログラムを通じて世界中の 325,000 人以上のスペシャルオリンピックス選手が無料で視力検査を受け、100,000 人が無料の眼鏡等を受け取った。こうした検査や特注の眼鏡が、通常このようなサービスの行き届かない人々の視力向上につながっている。LCIF は US\$1,500 万以上をプログラムに交付している。

世界保健機関 (WHO):

LCIF は、世界保健機関 (WHO) と四つの主な取り組みにおいて協力している。「回避可能な小児失明の撲滅」は、無用の小児失明と闘う世界的取り組みで、これまでに 30 カ国以上で 1 億 2,100 万人の子どもたちを対象としたプロジェクトを支援してきた。現在は、そのうち 10 カ国で最も効率のよい事業を 2 年かけて支援することに力を入れている。また LCIF と WHO は、発展途上国における世界的な糖尿病のまん延によって生じつつある視力障害への脅威にも共同で取り組んでいる。また、ライオンズと WHO は中国の保健当局と協力し、失明を引き起こすトラコーマの深刻度と範囲の特定、そして介入計画の立案にもあたっている。最後に、WHO の失明・失聴予防事務局は、1991 年以來視力ファーストプログラムに技術支援を提供している。この支援には、ライオンズ指導者や LCIF スタッフとともに行う検査・評価訪問、視力ファースト申請の審査、LCIF 視力ファースト諮問委員会書記の任務などが含まれる。

アワード

人類の友アワード: 長年にわたり LCIF に著しい奉仕を提供した選りすぐりのライオン（年間 50 人まで）をたたえる。本アワードは、LCIF に著しい財政的支援をしたか、または LCIF の名声や地位を高めることに貢献したライオンに与えられる。LCIF 理事長が候補者を承認し、受賞者にはリボンのついた金のメダルが贈られる。個人がこのアワードを受けることができるのは 1 回限りである。

理事長メダル: 年間の資金獲得目標を達成した地区ガバナー、協議会議長、地区 LCIF コーディネーター、複合地区 LCIF コーディネーターが表彰される。獲得目標は、各受賞レベルの最低寄付額と、前年度の寄付額に対する年間の増加率に基づく。

LCIF 援助の手アワード: クラブ、リジョン、地区、あるいは複合地区レベルで、LCIF に対する認識および支援を向上させたライオンズ会員を表彰する。年間のアワード発行数には制限がなく、また個人が 1 回以上受賞することも可能である。アワード受賞者は、LCIF 理事長によって決定される。受賞者にはピンが贈呈される。

クラブへのアワード

MJF バナーパッチ: メルビン・ジョーンズ・フェロー (MJF) としてたたえられる会員を初めて出したクラブには、メルビン・ジョーンズ・フェロー・バナーパッチが授与される。その後の年度は最初の MJF が出るごとに、シェブロンがクラブに交付される。

100% MJF バナー: クラブは、現クラブ会員全員が MJF になると、100%メルビン・ジョーンズ・フェロー・バナーを受賞する。また、国際大会で LCIF 理事長よりクラブに表彰状が授与される。

100%献金会員バナーパッチ: クラブは、初めて会員全員が献金会員になると、100%会員支援バナーパッチとシェブロンを受け取る。その後クラブの会員全員が献金会員となった年度は、シェブロンを受け取る。

ライオンズクエスト・バナーパッチ: ライオンズクエスト・プログラムをスポンサーするライオンズクラブは、バナーパッチを受け取ることができる。地区ガバナー、ライオンズクエスト委員長またはライオンズクラブが、バナーパッチを要請することができる。

トップファイブ・クラブ表彰状: 会計年度中 LCIF への寄付額が各会則地域において上位 5 位のクラブに、表彰状が贈られる。

地区へのアワード

ライオンズクエスト地区達成証書: 年間にライオンズクエスト研修を 1 人以上（ブロンズ証書）、6 人以上（シルバー証書）、12 人以上（ゴールド証書）の教師のためにスポンサーした

地区に対して、それぞれのレベルのライオンズクエスト地区達成証書が贈られる。署名をした証書申込書が5月15日までにライオンズクエスト課に提出されなければならない。

100%クラブ支持感謝状: 会計年度中地区内のすべてのクラブが LCIF に寄付をした場合、その地区には感謝状が贈られる。1 クラブ当たりの寄付額が最低 US\$100 の場合、地区ガバナーと地区 LCIF 委員長にも 100%クラブ支持感謝状が贈られる。

トップファイブ表彰状: 会計年度において LCIF への寄付額が各会則地域で上位 5 位までの地区に表彰状が贈られる。地区 LCIF コーディネーターと地区ガバナーにも表彰状が贈られる。各会則地域において会員一人あたりの平均寄付額が上位 5 位に入った地区、その地区 LCIF コーディネーター、そして地区ガバナーにも表彰状が贈られる。

トップ複合地区表彰状: 寄付総額と会員一人あたりの平均寄付額が各会則地域において最多の複合地区の複合地区 LCIF コーディネーターに表彰状が贈られる。

LCIF への協力

表彰

メルビン・ジョーンズ・フェロー: 用途無指定で自ら US\$1,000 のドネーションをした人、又、ある特定の人の名で第三者が同額の寄付をした場合にはその特定の人、メルビン・ジョーンズ・フェロー (MJF) として認められる。メルビン・ジョーンズ・フェローにはラペルピンと氏名の入った楯が贈られる。また、その氏名は国際本部の LCIF 展示室にあるコンピューター画面に映し出され、寄付レベルを示す特別なピンを受け取る。はしか、支援を最も必要とする分野、災害、人道奉仕 (はしかを含む)、視力、青少年の各カテゴリーを対象としたドネーションが、メルビン・ジョーンズ・フェローの対象となり得る。

プロGRESS・メルビン・ジョーンズ・フェロー: すでにメルビン・ジョーンズ・フェローである場合、プロGRESS・メルビン・ジョーンズ・フェロー (PMJF) によって同フェローシッププログラムにおける更なる昇進をすることができる。寄付者は、当初の MJF ドネーションに加え続けて行われる寄付 US\$1,000 ごとに、寄付レベルに応じて異なる PMJF ピンをもって新たなレベルの表彰を受ける。PMJF プログラムでは、US\$51,000 レベルまでは US\$1,000 ごとに表彰が行われる。US\$51,000 レベルに達した後は、US\$10,000 ごとに特別なピンが授与される。

献金会員 US\$20、50、または US\$100 のドネーションをした寄付者には、ラペルピンが贈られる。11 月は献金会員の月である。会員はドネーションをクラブ幹事に渡すと良い。クラブ幹事は、このドネーションをまとめ、各寄付者名のリストを添えて LCIF 寄付課に送るよう求められている。ラペルピンは、クラブ宛に送付される。(献金会員の月は 11 月であるが、一年を通してドネーションが受け付けられ、ピンが贈られる)

芳名録 US\$100 のドネーションをする寄付者には感謝状が贈られ、その人の氏名は、寄付があった年度の寄付者として、LCIF 展示室にある芳名録に載せられる。

クラブ楯: LCIF に US\$1,000 以上の寄付を行ったライオンズクラブをたたえて、クラブ楯が贈られる。クラブは、楯の代わりにバナーパッチとシェブロンを要請することができる。

人道支援パートナー 人道支援パートナー・プログラムは、ドネーションの累積額が US\$100,000 を超える個人を称えるためのものである。このプログラムには近年、US\$300,000 レベルまで US\$20,000 の寄付ごとに贈られる新たなピンのレベルが加えられた。PMJF プログラム同様、各レベルにおいて異なる宝石と金属で作られた個別のピンが贈られる。

法人組織用楯 用途無指定で US\$1,000 又はそれ以上のドネーションをする会社など法人組織には、組織名が彫りこまれた楯が贈られる。

LCIF 遺贈プログラム 誰でも、保険金、現金、株、資産などの形の遺贈で、LCIF を支援することができる。又遺書を通して、あるいは LCIF を保険や信託の受取人に指定して、遺贈計画の手配をすることもできる。人道主義的活動を支持するために遺贈計画をする人には、何年間かにわたって、その資産の価値を増やしていく機会が与えられるのである。

寄付（ドネーション）を送る方法

1. 送金方法を選択する

LCIF 寄付金の処理と送金については多くの国で独自の方法が採用されている。以下の方法を自国の方法と併せて活用されたい。

国内にある協会の銀行口座への振込

ライオンズクラブ国際協会の銀行口座がある国では現地の通貨で寄付金を振込むことが出来る。月々のクラブ会計計算書に表示される協会の公認為替レートをチェックすること。この方法で寄付を行う場合には、専用の書式に寄付の詳細を記入し、FAX、E メールまたは郵便で必ず振込後直ちに LCIF に提出すること。

クレジットカード

LCIF では、ビザ®、マスターカード®、ディスカバー®、アメリカン・エキスプレス®を利用した寄付を受付けている。カード保持者の氏名、カード番号、有効期限、及びカード裏に記載されているセキュリティ・コードをクレジットカード専用の書式に記入し、FAX または郵便で LCIF に提出する。カード情報の漏えいを防ぐため、E メールによる提出は行わないこと。寄付がカード保持者以外を表彰する場合、表彰される人の氏名（および該当する場合には会員番号）を明示する。電話でのクレジットカードによる寄付は、LCIF では受け付けない。クレジットを使ってオンラインで寄付をすることについて手助けが必要な場合には、献金者サービスまでご連絡（電話：630-203-3836）いただきたい。オンライン(<http://www.lionsclubs.org/JA/lcif-foundation/supporting-our-work/make-a-donation/lions-lcif-online-donation.php>)で直接支払うことも出来る。

電信送金/銀行振替

LCIF の銀行口座もしくは貸金庫に直接米ドルを電信送金するのも、米国外から寄付を送る効率的な方法の一つである。

寄付者の銀行から LCIF 名義の口座または貸金庫に直接送金するには、現地通貨による寄付金額（プラス現地銀行の手数料）と下記の情報を窓口へ提出し、米ドル建ての送金を依頼する。

口座

**JPMorgan Chase Bank, N.A.
10 S. Dearborn Street**

Chicago, IL 60603 USA
ABA (米国銀行協会) ルーティング番号: 021000021
口座名: Lions Clubs International Foundation
口座番号: 754487312
Swift (国際銀行間通信協会) 銀行間取引番号: CHASUS33

貸金庫翌朝送金

JP Morgan
Attn: Lions Clubs Int'l LBX 4547
131 S. Dearborn, 6th FL
Chicago, IL 60603
60122-4547
USA

銀行が発行する受取書または送金依頼書のコピーを、必要に応じて寄附金に関する特記事項を添えた上で FAX、E メールまたは郵便で送金後直ちに LCIF に提出する。寄付者の氏名（および該当する場合には会員番号）とクラブ番号を必ず明記すること。これらの情報は入金を特定し、正しく処理する上で重要であり、その提供は送金依頼書または別紙への記載をもって行うことが出来る。

マッチングギフト

米国では数千社の企業が、社員の慈善寄付に対して一定比率の金額の上乗せを行うという制度を設けている。これを利用すると、寄付額を2倍または3倍に増やすことが可能となる。雇用主が従業員の寄付に対して金額を上乗せするマッチングギフト制度を設けている場合には、下記の簡単な手順に従うとよい。

- マッチングギフト用紙を雇用主（おそらくは人事課又は給与関係課から入手可）から入手する（企業によっては地域での奉仕活動に対しマッチングギフトを行うところもある—ライオンズにはぴったりの仕組み）
- この用紙の献金者欄に必要事項を記入する
- クレジットカード情報、または LCIF を受取人とした、自分が寄付する額の小切手*（すでに献金している場合は、支払済みとして戻ってきた小切手のコピー）を添えて、用紙を下記宛てに郵送する。

LCIF
300 W. 22nd St.
Oak Brook, IL 60523-8842 U.S.A.
Attn.:LCIF Development

**特定のプログラムまたは災害を指定して寄付を行う場合には、それを小切手の備考欄に明記すること（注意：メルビン・ジョーンズ・フェローの表彰を受けられるのは、一般的な寄付のみ）*

2. 書類の提出

いずれの送金方法を選択した場合にも、寄付金が正しく処理されるために以下の情報を提供する。

- 寄付者の氏名
- 表彰の対象となる人の氏名（寄付者自身の場合にはその旨を明記のこと）
- 寄付者の所属クラブ名とクラブ番号
- 寄付金額
- 特記事項、例えば
 - 自分が誓約した寄付の支払
 - クラブが誓約した寄付の支払
- 支払の詳細、例えば
 - 振込または送金日付
 - 国際協会送金専用口座番号（LCIF 用）－ 国内にある協会の銀行口座に振込む場合
 - クレジットカード情報など

3. 希望する表彰についての記載を忘れずに

寄付への感謝の意を表するために個人とクラブに対する表彰が数種類用意されている。寄付金
が人道的な奉仕に最大限活用できるよう、表彰は寄付一件につき一種類に限られる。寄付をす
る際には、所定の書式に希望する表彰、表彰を受ける人などの情報を明記して提出する。

- メルビン・ジョーンズ・フェローまたはプロGRESS・メルビン・ジョーンズ・フェロー
- 献金会員ピン
- クラブ楯またはバナーパッチ
- 企業用楯
- 記念寄付

寄付に関してよくある質問

1. 用途無指定寄付と用途指定寄付の違いは何か

用途無指定寄付は、LCIFにとって最も重要な寄付である。この寄付は、用途が指定さ
れておらず、全 LCIF プログラムの支援に用いることができるものである。さらにこの
たび寄付者は、支援を最も必要とする分野、災害、人道奉仕、視力、青少年の五つの特
定のプログラム分野を資金援助することができるようになった。用途無指定寄付及び上
記五つの分野を対象とするドネーションにより、LCIF はすべてのプログラムの必要に
応じることができる。これらのドネーションはメルビン・ジョーンズ・フェローを含む
すべての表彰プログラムの対象となる。

用途指定寄付は、視力ファースト・キャンペーン II など特別な取り組みのため、専用に
設けられた口座を指定するものである。用途指定口座はその都度設置される。用途指定
寄付をする場合には、事前に LCIF に連絡をする。用途指定寄付は、メルビン・ジョーン
ズ・フェローの対象とはならない。

2. 寄付金は、ためておいて定期的に LCIF へ送付するべきか

遅らせずに資金を送金するべきである。そうすれば、寄付したことがその寄付者の記録
に即座に加えられ、LCIF の表彰やアワードが適宜交付される。また、長期に渡って処
理されない小切手は無効になり、新たな小切手の発行を要請しなければならなくなるこ
ともある。

3. LCIF が寄付を受け取る前に、メルビン・ジョーンズ・フェローなど、何らかの表彰を送付してもらうことは可能か

可能ではない。LCIF の方針により、寄付が国際本部で受領処理されるまでは表彰を送付することができない。正確かつ時宜に適った処理、および表彰の迅速な発行ができるよう、メルビン・ジョーンズ・フェロー申請書などの必要書類を忘れずに同封する。

4. LCIF から寄付に関する報告を入手することは可能か

可能である。LCIF では、地区ガバナーと、複合地区及び地区の LCIF コーディネーターに四半期ごとの寄付に関する概要を提供している。また、いくつかの報告書が要請に応じて提供される。これら役員は報告書を活用してドネーションや表彰に関する情報を伝えることができる。

5. LCIF に寄付をする方法は他にあるか

ある。LCIF に対し、株式、遺贈計画、マッチングギフト及び証券寄贈を行うことができる。詳細は、www.lcif.org を参照するか、LCIF 資金開発課スタッフに問い合わせる。